平成２９年度第１回千葉市若葉区公民館運営審議会議事録

１　日　時　平成２９年７月２７日（木）１５時００分～１６時３５分

２　場　所　千城台公民館　セミナー室

３　出席者　（委員）　１３人中１２人

内山委員長、大澤副委員長、猪野委員、深山委員、成田委員、江﨑委員、
横田委員、森谷委員、山田委員、但田委員、近藤委員、髙橋委員

（事務局）

髙石館長（千城台公民館）、田中館長（更科公民館）、石井館長（白井公民館）
深山館長（加曽利公民館）、押尾館長（大宮公民館）、中村館長（みつわ台公民館）
髙宮館長（若松公民館）、小川館長（桜木公民館）、桜井副館長（千城台公民館）
山本主査（千城台公民館）

４　議　題

（１）平成２８年度若葉区公民館の利用状況について

（２）平成２８年度若葉区公民館の事業報告について

（３）その他

５　議事の概要

（１）平成２８年度若葉区公民館の利用状況について

事務局より、平成２８年度の若葉区公民館の利用状況を報告し、承認された。

（２）平成２８年度若葉区公民館の事業報告について

事務局より、平成２８年度の若葉区公民館の事業報告を行い、承認された。

（３）その他

ア　山田委員より、公民館設置管理条例の一部改正議案が議決されたことについての質問がなされた。

イ　事務局より、千葉県公民館研究大会についての説明がなされた。

６　会議経過

（１）議題１　平成２８年度若葉区公民館の利用状況について

質疑なし

（２）議題２　平成２８年度若葉区公民館の事業報告について

（山田委員）（議題１の）利用者数の変化とも関連しますが、全体として利用者数が減っている中で、加曽利公民館に関しては、前年度に比べて１１０％と増加し、桜木公民館に関しては、９１％と減少し、増減に差があるように感じます。その理由

は何かと思い事業報告を見たところ、加曽利公民館は新規事業が８事業あり合計２０事業、桜木公民館は新規事業が無く合計１４事業、というところが利用者数の差になったのかなと解釈してみたところです。それぞれの館に事情があると思いますので、その辺の分析については、どのように考えるのか、お聞きしたいと思います。

次に、「そば打ち教室」をいくつかの館で行っているようですが、定員が何人かは分かりませんが、受講者数が概ね１０人以下というのは、もっと増やすための何か工夫が必要だと思います。また、主に男性向けの企画なのかなと思いますので、新たな別の企画を開発していく必要があるのかなとも思います。例えば、同じ「そば打ち」でも、ワンランク上の指導者を養成する講座を作れば、また、それなりに受講者が集まるのかなと。そば打ち教室の今後についてのご見解をお聞かせください。

（髙石館長）利用者数については、共通する要素としては、昨年度、教育委員会から、カウントの方法について、例えば１０人の団体が、午前から午後まで続けて使うような場合に、午前１０人、午後１０人で「延べ２０人」とカウントするのではなく、実際に公民館を利用した人数の「１０人」でカウントするように、との指導があったため、統計上の利用者数を下げる要素となりました。千城台も、その影響が大きく、かなり下がっています。一方で、各館にはそれぞれ個別な事情もあり、実際に、人数が増えている館もあります。

（押尾館長）大宮公民館で「そば打ち」を始めたきっかけは、公民館は、シニア層の男性の利用者が少ないので、何かしらの手だてを講じながら男性の利用者を増やそうと始めたのが「そば打ち」です。準備の段階で講師の先生からの要望があり、指導するには規模の問題があるので、調整した結果、今回の受講者は９人となったものです。そば打ち自体は、非常に好評なので、参加した人からの口づてで、さらに利用が増えて来るのかなと思いますし、公民館からも呼びかけていきたいと思っております。

（髙宮館長）若松公民館です。（委員の質問の中で）「ワンランク上の指導者を養成する講座も作ってはどうか。」という話がありましたが、講師の先生に聞きますと、作り方には自分の個性もあり、その中で指導者になっていく、ということなので、大勢の人を集めて指導者養成をするというのは、講師も考えていないというところです。それよりも、当館としては「誰でも手軽にそばが打てる」という方向で、進めていきたいと思っております。

また、調理室の１つのテーブルの上で、（ぶつからずに）そばが打てるのは２人

までしか出来ない。テーブルが４台しかありませんので、最大８人というのが１回の講座の人数の上限なのかなと。ニーズがあれば、回数を増やしていきたいとは思っております。

（深山館長）加曽利公民館では、当初１回募集したところ応募が多く、急きょ、２回目を講師にお願いして実施した年もありました。昨年は１回でしたが。

初めての方が対象なので、講師の先生が１人で全員を教えるのは難しいので、先生が指導しているサークルに協力していただいていることもあり、受講者の人数を増やすのは、講師の問題もあって、現実的には難しいかなと思っております。

（山田委員）「そば打ち」を行うには、定員は８人くらいということですね。

（髙石館長）調理室自体が８館同じくらいのスペースで、それぞれ４卓くらいですので、そのようになります。

（近藤委員）千城台公民館の「土曜キッズクラブ　ＬＥＤキャンドルを使って冬のオーナメントを作ろう」というのは、具体的にどのようなものを作ったのでしょうか。

（桜井副館長）１００円ショップで売っているＬＥＤキャンドルを使って、２種類作ったのですが、１つ目は、５センチくらいのロールになった紙テープを花びらの形に切り、ＬＥＤキャンドルの周りに貼って、バラの花のようなキャンドルを作りました。２つ目は、クリスマスの時期なので、透明のクリアファイルを扇形に切ったものの両側を貼りあわせて円錐形を作り、キラキラビーズのシールを貼って飾り付けをしたものの中にＬＥＤキャンドルを入れ、クリスマスツリー型のキャンドルを作りました。

これは、共催先の社協地区部会の子ども委員会の委員長さんが、ご自分で考えて、講師もしてくださったもので、ＬＥＤキャンドルは火を使わず安全で、素敵な作品が出来上がったので、大変好評でした。

（成田委員）みつわ台公民館の夏休み事業の「スナッグコーナー」は、各小学校で行っている「放課後子ども教室」とは関係ないところで行っているのでしょうか。

（中村館長）「スナッグコーナー」は、公民館の事業として、計画、内容、日程の調整、部屋の割り振り、ボランティアをしていただく囲碁サークルの方との調整などを行っており、毎月発行している「みつわ台こどもニュース」に掲載して、夏休み前に全児童に配布しています。

（横田委員）事業報告の講師名は、私の名前になっていますが、これは私が個人で行っているのではなくて、１７年ほど前に立ち上げた「みつわ台子ども支援センター」で行っているものです。学校が休みになると子どもたちが行く場所が無いので、

当時の公民館長さんと相談して「子ども支援センター」という組織を作り、組織が責任を持って企画をしているものです。育成委員会の下部機関となっています。

（成田委員）千葉市では「放課後子ども教室」を行っていて、都小でも「わくわく教室」として行っていますが、夏休みになると途切れてしまうので、それを公民館で開催しているのかなと思ったのですが。

（横田委員）みつわ台の小学校も、もちろん「わくわく」は、開催してくださっていますが、私たちは、平日よりも夏休みの方が、子どもたちを受け入れるところが無い、子どもたちが行く場所が無い、と思っております。

今年の「スナッグコーナー」も始まったところですが、初日は８人だったのですが、翌日は、２２人となりました。こどもニュースを学校を通して配布していますが、今年は、さらに公民館の受付の前にチラシを置いたところ、お母さん方が見てくださったようです。今日も２０人の参加がありました。

（但田委員）都賀コミュニティセンターが改築しているとのことですが、いつまで休館するのでしょうか。

（髙石館長）来年の４月の中旬くらいまでは工事が続くと聞いているので、その間は公民館の利用に影響があるものと思われます。また、今までコミュニティセンターを有料で使っていた団体が、公民館は無料ということを初めて知り、いくつかの団体が、そのまま公民館に残り、引き続き影響があるのでは、とも思います。

（山田委員）加曽利貝塚が特別史跡になるので、公民館とコラボして、事業を行う計画はあるのでしょうか。

もう１点は、市民活動を活発にするために区で補助金を出していたり、高齢者の関係でも、地域で高齢者の居場所を作ったり、見守りをしたりするグループを作って事業を行ってもらうような動きがありますが、そのようなグループが自立していくためには、公民館が勉強の場になるのではと思います。例えば、その補助金を受けるためにどのように申請書を書いたらよいか、とか、プレゼンがあるので、プレゼンの工夫の仕方とかの学習を公民館で行ったらどうかと思うのですが、市民活動を後押しするための講座を考えていただけたらと思いますので、ご見解をお願いします。

（髙石館長）加曽利貝塚に関する講座については、２８年度もいくつか実施していますが、２９年度も加曽利貝塚に出向く講座などを始めとして、引き続き実施しているところです。同じ若葉区内で特別史跡ができるということで、一昨年ごろから加曽利貝塚の職員の方が、館長が集まる会議に出向いて「このようなコラボレ

ーションが出来ます。」というようなことを説明いただいたので、それがきっかけとなって、講座が増えていったものです。また、若葉区役所も、加曽利貝塚には力を入れていて、公民館で巡回展示を行ったりしていますので、引き続き連携を図っていきたいと思っています。

２点目の市民活動の支援についてですが、公民館側でそれだけのノウハウを持つのは厳しいものがあるので、グループを立ち上げていただいて勉強会を行う場合には、公民館の部屋を活動の場として活用していただくのかと。具体的に補助金をもらうための手法ということになると、区役所の職員とかとの連携になるのではと。現状、公民館独自では難しいと思います。

（山田委員）すぐにという話ではないのですが、市民活動支援センターが中央区のツインビルにあり、そこにはプロに近い指導のできる方々がいるのですが、千葉市内に１か所にしかなく、各区の方々がそこへ行くのは大変なので、公民館を使って市民活動支援センターがレクチャーをするなど、コラボしていただければよいのではと思います。

（髙石館長）市民活動の専門家の方が講座を開きたいということで、公民館に声をかけていただければ、公民館としても、セッティングとかの部分で協力はできると思います。

（山田委員）主催事業としてはどうですか。

（髙石館長）ノウハウを持った方が、公民館の部屋を使うということであれば、すぐに対応が可能だと思いますが、主催事業ということになると、すぐには難しいので、研究が必要だと思います。

（横田委員）施設予約システムについては、いろいろなご意見をお聞きしていますが、公民館は無料で、コミュニティセンターは有料で、申し込みの条件が同じではなく、それ以外の施設も、規定が異なるのに全部同じシステムに入っているのはどうなのかと。このような中央一本の貸し出し方式について、実施したことによって、とても良かったことや、マイナス面などを公民館としては把握されていますか。

（髙石館長）施設予約システムでは、一般の方は、公民館の空き状況を見て予約できますし、コミュニティセンターやスポーツ施設などから、空いているところを選んで予約することができます。公民館が他の施設と違うのは、社会教育施設なので、誰でも使える訳ではなく、利用目的等を審査しなければならないので、各団体がＩＤ番号を取得すればどこでも予約できる訳ではありません。必ず、申請書を公民館へ紙ベースで提出して、認められれば使えるようになります。公民館の

利用に関しては、コミュニティセンターよりも使うためのハードルが高いです。

（横田委員）初めて使う団体は、利用する公民館に、まずは出向かなければいけないのですか。

（髙石館長）公民館に出向いて、審査を受けていただく必要があります。

（３）議題３　その他

ア　委員より

（山田委員）この前の議会で、公民館の運営方法の変更についての議決がされたと聞いておりますので、以前にこの場でご説明があったからこそ、その報告をしていただいて、みなさんに情報共有させていただけたら、と思います。

（髙石館長）前回の運営審議会の後に、生涯学習振興課がお話をしたことがありましたが、その後の事実関係だけを申しますと、６月に、第２回定例会で、公民館設置管理条例の一部改正の議案が出されて、指定管理者制度の導入ということが可決されました。

本日の運営審議会の開催にあたり、生涯学習振興課に問い合わせをしたところ、若葉区以外の５区の運営審議会はすでに終了しており、指定管理についての説明に出向いていない状況を踏まえて、他の５区の委員のみなさまと同じタイミングでお話をしたい、ということでした。生涯学習振興課としては、秋ぐらいの時期を考えているようです。

（山田委員）希望ですが、３月頃の次回の運営審議会で説明するのでは、相当間があいてしまうので、秋ごろに説明をしていただいたほうが良いと思いますので、ご検討ください。

（髙石館長）そのように伝えます。

イ　事務局より

（髙石館長）「第６９回千葉県公民館研究大会開催要項」を配付させていただきましたが、本年度は千葉市で開催されます。参加のご希望については、８月頃に委員のみなさまにご照会させていただきますので、ご都合がつけば是非ご参加ください。

（山田委員）一般市民は参加できるのですか。

（髙石館長）基本的に、職員と運営審議会委員等が対象で、一般市民向けの研修会ではありません。

（問い合わせ先）千葉市教育委員会生涯学習部
千城台公民館
電話：２３７－１４００